

平成 25 年度日本 N G O 連携無償資金協力
贈与契約署名式典
隈丸 優次 大使 スピーチ
平成 26 年 3 月 7 日（金） 於：大使館多目的ホール

特定非営利活動法人 A S A Cカンボジアに学校を贈る会
カンボジア事務所 浦田 富貴美様、

ご列席の皆様、

本日は、特定非営利活動法人 A S A Cカンボジアに学校を贈る会が日本 N G O 連携無償資金協力により実施する「カンポット州小中学校整備事業」の贈与契約に署名でき大変嬉しく思います。

A S A Cカンボジアに学校を贈る会は、1994年より20年以上にわたりカンボジアで学校建設及び識字教育実施の支援活動を展開されておられ、日本政府としましても、緊密に連携しつつ協力してきています。特に学校建設につきましては、これまで、カンポット州を中心に130校を超える小中学校を建設されていると承知しております。

カンボジア政府の掲げる国家開発戦略である「四辺形戦略」においても人材育成に重点が置かれており、日本政府も、小・中学校の校舎建設、教員養成校の理科実験棟の建設など、ハード面への協力とともに、理数科教員養成のソフト面への支援も進めています。

今回学校を建設されるカンポット州のアンポーワンジョットラン小学校及びトゥールプチャック中学校については、現在、道路を挟んだ寺院内の壁のない建物を間借りし、週当たりの授業時間数も教室が不足していることから、32時間以上実施するべきところを30時間の実施にとどまっていると聞いております。

今回のプロジェクトにより、2棟8教室を建設し、1棟3教室の改修をすることで、雨の時や風の強い時でも安心して授業が受けられ、この小中学校に通う500名を超える全ての生徒に対して週32時間以上の授業が実施され、小中学校の学習環境が大幅に改善されることを期待しております。

最後になりますが、日本 N G O 連携無償資金協力は日本の N G O が実施する、草の根レベルに直接裨益する経済・社会開発事業に対して供与されるものです。本日署名した事業が対象地域の住民に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進につながることを願って、私からの挨拶とさせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。